

進捗状況の概要 【1ページ以内】

本プログラムの構想にもとづき、各協定校と交換留学協定書を締結し、PBL科目を軸とした交換留学を実施する準備を整えた。その過程で、予定よりも早期に実施することへの協定校の強い要望から前倒して受入を開始することに加えて、申請時点の協定校以外の大学からも本プログラム参加の要請があり、プログラムの拡大を図っている。平成26年度にはタイから5人の学生を受け入れ、20人の学生をタイおよびインドネシアに派遣した。

また、国際PBL (Project/Problem-Based Learning) を基軸とした本プログラムを実施するにあたり、留学前の事前指導科目や留学後のフォローアップである事後指導科目という1 Semester留学にとどまらない一連の教育プログラムを開発するとともに、プログラムを担当する教員3名を任用した。国内における情報提供や協定各国における相談役としての現地コーディネータの採用など、学生が留学しやすい環境を整えた。一方、協定校との密な調整を必要とする教育（サテライト・VOD [Video On Demand]）については引き続き調整を行っている。

1. 本学における国際PBL科目の提供

本学が英語で提供する国際PBL科目は、受入学生、派遣予定学生が一体となってPBLを通じて共に学びあい協働できる科目として設計しており、平成27年度にむけて5科目（うち3科目を新設）の開設準備を進めた。また、加えて前年度に本プログラムで留学した学生も受講することによって、派遣国において国際PBLを実践してきた先輩として国際的なリーダーシップを発揮できる科目となっている。協定校からの留学生および留学経験学生の知見を踏まえた発表およびディスカッションは、多様な経験の交流の場であり、特に派遣予定学生にとって刺激のかつ有意義なものとなる。

また派遣学生に対しては、タイ語・インドネシア語の初級集中講座、東南アジアの宗教、グローバル教育などの事前指導科目8科目を開講することで学生の派遣国の言語文化への理解を促し、国際的な場面における適応力を身につけることができた。

2. 派遣先大学におけるPBL科目の提供

本学の学生は派遣先大学において国際PBL科目を中心とし、派遣先大学の正規開講科目を受講することとした。国際PBL科目については、シラバスをもとに派遣先大学との協議を重ね国際PBL科目の精選を行った上で、本学学生への履修指導を行っている。

【本事業における中間評価までの交流学生数の実績】

平成25年度				平成26年度			
受入		派遣		受入		派遣	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
0人	0人	0人	0人	0人	5人	25人	20人